



小林重昭 [著]

推薦文 錦織 寛牧師

さんようもん

三要文講解——十戒・主の祈り・使徒信条

7月20日刊行予定

これほど真正面から、ここまで愚直に
「三要文」に挑んだ牧師がいたでしょうか？

キリスト教信仰の3つの柱とも言うべき「三要文」を、教理・教義の硬い枠組みとしてではなく、日々の暮らしの中に優しく溶け込んでいく神の愛の多彩な使信として語らんと欲す——。2023年に81歳の生涯を終えた牧師小林重昭が遺した珠玉の説教集。51年に亘る伝道者生涯で説教に5回取り上げたのがこの「三要文」だった。

推薦文 東京聖書学院院長 錦織 寛氏

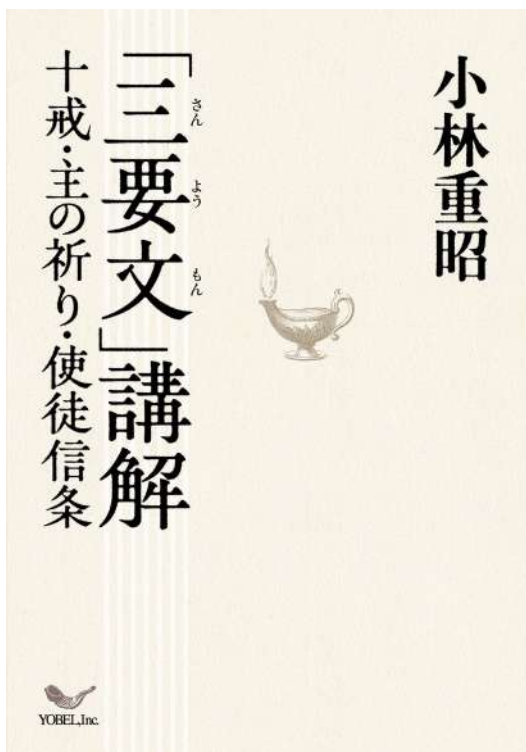
この説教集は川崎ホーリネス教会の会衆への温かいまなざしにあふれている。心がぼかぼかしてくる。神学書ではない、説教集ならではの聞き手への目線がある。小林重昭先生のことを知っている人は誰でも、先生の温かい笑顔を思い出すだろうし、説教集を読みながら、先生の語り口調を思い出すことだろう。先生はとても穏やかな人柄だったし、また微笑みを絶やさない牧師だった。痛みがなかったとは思わないし、多くの苦悩も負ってこられたことだろう。しかし、どこまでも主を愛し、教会に仕えていかれた。

小林 重昭（こばやし・しげあき）

1942年 埼玉県庄和町（現春日部市）生まれ。
1966年 日本大学法学部卒
1966年 旗の台キリスト教会で受洗
1972年 東京聖書学院卒
1972年 旗の台キリスト教教会副牧師就任
1973年 府中キリスト教教会主任牧師就任
1974年 荒牧 恒子と結婚
1987年 川崎キリスト教教会主任牧師就任

2019年 隠退 その後名誉牧師として教会に仕える
2023年10月 召天

・2011年2月7日 アジア神学大学院から学位論文「日本ホーリネス教団（教会）の宣教の歴史とその展望——提言・終末論的共同体（聖霊共同体）としての教会形成」により Doctor of Ministry 授与
・日本ホーリネス教団 教団委員 伝道局長歴任
・東京聖書学院後援会役員



A5 判上製・500 頁・定価 3,080 円（税込）

ISBN978-4-911054-54-3 C0016 本体 2,800 円 + 税